

## 会議概要

1	審議会	令和4年度 第4回 安曇野市総合計画審議会
2	日時	令和4年11月10日(木) 14時00分～15時50分
3	会場	議会全員協議会室
4	出席者(敬称略)	木村会長、二村副会長、赤羽(史)委員、上原委員、内田委員、岡江委員、尾臺委員、小岩井委員、高橋(秀)委員、高橋(良)委員、千國委員、筒井委員、花岡委員、樋口委員、藤本委員、安井委員、依田委員、若林委員、綿貫委員
5	説明者等	渡辺政策部長、黒岩政策経営課長、藤澤企画担当係長、柳澤企画担当主査
6	庶務担当課出席者	同上
7	公開・非公開の別	公開
8	記者	2人
9	会議概要作成年月日	令和4年11月10日(木)

## 協議事項等

### 1. 開会

### 2. 会長挨拶

- ・ 本日は今年度4回目の開催となる。事前に皆さんのお手元に資料が送られていると思うが、最終的な形が示されており、これまで頂いた意見も検討されていると思う。
- ・ 前期計画と比べて、市長も変わったということで新しい市長の政策がどのように反映されているのか見て頂きたい。本審議会の後、パブリックコメントで公表されるということであり、実質的には今日が最後の審議になると思うので、よろしく願いたい。

### 3. 会議事項 【発言者 ◎会長／・委員／⇒政策経営課】

#### (1) 第2次安曇野市総合計画後期基本計画(素案)について

##### 【説明】

(資料「P1～P21 序論と基本構想」に沿って説明)

##### 【質疑応答等】

- ・ P21(2)③の「経済社会上、重要な役割を果たす諸機能の適正配置とバックアップの推進」という記載について、具体的にどういうことなのかわかりにくいと思う。また、次の(3)②の「機能集積地のコンパクト化」という言葉も具体的でなくわかりにくい。  
⇒表現について、わかりやすい記載を検討する。
- ・ P9のSDGsについて、市民に広まっていくような形になっていくように進めて頂きたい。価値創出プロジェクトを進めるうえで、施策間のシナジーとトレードオフの観点からSDGs達成を目指すことも重要。  
⇒参考にさせていただく。
- ・ P18 将来ビジョンについて、まず「人」を中心に置きたいという理由、織りなしていく中心は人であるという理由、共生していくのも人であるという理由から、この将来ビジョンの最初に「人、」を入れてはどうか。  
⇒検討する。

**【説明】**

(資料「P23～後期基本計画」に沿って説明)

**【質疑応答等】**

- ・ P49 指標・目標値の「安曇野市が自然保育に取り組んでいることを知っている市民の割合 (%)」という項目が入っていることは自然保育を実現するためにとっても重要なポイントだと思うのでとてもよいと思う。しかし R9の目標値がもっと高くなるような働きかけができることさらによい。

⇒目標値の考え方について、担当課と共有したい。

- ・ P27、67 女性の再就職の後に「起業」を加えたらどうか。P137「男女共同参画」という言葉を残したほうがよいと考える。

⇒施策「2-6 多様な働き方」では就労に加え、起業や事業承継の支援もどちらともご指摘頂いた言葉を追加する方針で考えたい。

- ・ P36 について、民生委員・児童委員「等」の不足、「見守り人員」の不足と幅を持たせて頂きたい。

⇒市の支援状況を確認したうえで、検討する。

- ・ P25 について、「聖地」ではなく「振興」にしてはどうか。

◎私もここを読んだ時に違和感があった。検討して頂きたい。

⇒検討する。

- ・ P40 について、「障がい者は増加」という記載は課題管理表と矛盾している。あえて増加していることを言わなくてもいいのではないか。それから「入院が長期化しやすい精神障がい者」という記載について、入院の長期化は病気によってではなく病院の体制によっているという現状があり、誤解を生む可能性があるため表現を検討して頂きたい。

⇒身体障がい者は減少傾向、精神障がい者は増加傾向にある。除いても差し支えない部分と思われるため、担当課に確認して検討する。長期化についても、現況を確認して検討する。

- ・ P98 について、コンパクトシティの考えは担当課でよく議論する必要があるのではないか。移住者が好むのは自然が豊かな地域などであり、移住施策と矛盾が生じるのであれば、記載する必要はないのでは。

⇒担当課の方針を確認したうえで、検討する。

- ・ P142「マイナンバーカードの普及を推進」という記載について、交付金などとの兼ね合いから必要なのかも知れないが、国がやることなので市の政策として載せる必要はないのではないか。

⇒市としても普及率を目標として設定し、普及を進めている。交付金の要件にもなりうるため、現況を確認したうえで検討する。

- ・ 共働き世帯のヒアリングの中に父親に対するサポート体制を作ってほしいという意見があった。施策1-8に追加してもらえるように担当課と検討してほしい。  
⇒可能かどうかを含め、担当課と検討する。
- ・ 指標・目標値について、現状値より目標値が下がってしまう場合がある。その場合は備考欄に理由を記載してほしい。また目標値がわずかしか上がってない場合も誤解を生む可能性があるため、備考欄に説明を記載してほしい。  
⇒グラフと備考欄で対応したい。
- ・ 1-1の自殺率など、現状と今後&取組の方向とつながりがない指標項目が突然出てくる。関連があるのかわかるようにしてほしい。目標値は定量ではなく定性的な評価の項目も入れて頂きたい。どれも説明不足なところがある。  
⇒1-1については、こころの健康と自殺対策の推進の記載がある。定性的な目標については、各事業の目標で立てたい。
- ・ その説明を一言書いておいてほしい。  
⇒検討する。
- ・ 指標・目標値、関連するデータについて、なぜこれを取り上げたのかの説明が必要ではないか。  
⇒施策紹介ページに入れると文字量が増えすぎるため、巻末の参考資料に掲載する方向で検討する。
- ・ 一行程度で記載することは可能だと思う。各課で考えてもらうことが必要。  
◎作業として大変なところもあると思うが、どこかにその説明はあるようにできるだけ努力をお願いしたい。
- ・ 本審議会で審議しているので掲載は必要ないと考える。
- ・ 価値創出プロジェクトの個別事業は実施計画にて具体化することを追記したほうがよい。  
⇒検討する。
- ・ P33 現状値と目標値について、年次の記載がバラバラで統一感がない。「R4」は削除して、「現状値」としたほうがよいのでは。  
⇒検討する。
- ・ P35、P47の市民意識調査の目標値について、松本市総合計画と比較すると医療の満足度などが安曇野市は低く、目標値も低い。目標値を変えるかどうか検討したほうがよいのではないか。  
⇒市によって状況は違うため単純比較はできない。また、選択肢や集計方法（全体の回答率に「どちらでもない」を含めるか等）にも違いがあるため、難しいと思われる。
- ・ P49「保育士の業務環境の改善」について指標がほしい。  
⇒事前配布の質疑応答のとおり、保育以外の要素が大きく絡むため、保育に関する指標と

しての設定は難しい。

- ・ P61「生産年齢人口に占める就業者数の割合」は、割合が少なすぎないか。内容を再確認して頂きたい。

⇒確認する。

- ・ 「自然増減数」については、指標としては適切ではないのではないか。

⇒施策のタイトルからすると違和感があるので掲載箇所を調整するなどしたい。

- ・ P24 目標人口の 86,000 人をはっきりと明記したほうがよい。

⇒検討する。

- ・ P68、P106 について、デマンド交通自体は交通弱者のために運行されているが、少子高齢化の中で利用者が減っているという現状がある。今後の公共交通の活性化という観点では、観光振興と公共交通は一体化することによって数値目標を達成できるのではないかと考えている。観光振興と公共交通の一体化という考え方をどこかに入れて頂ければ、5年先を見据えた観点では有効性が出てくると思う。

⇒そういった文言を入れていきたい。

◎P68～71 の観光のことについて、安曇野市の観光振興ビジョンを反映しているのか。

⇒観光振興ビジョンを反映しているので、今後の動き次第では内容が変わってくる。

- ・ 住まいの温熱環境の改善は重要になると思われる。それが施策 4-3 や 4-9 にも関係してくると思う。

⇒参考にさせていただく。

- ・ 冊子にする時、色覚障がい者の方に配慮したデザインの工夫をしてほしい。それから各ページに視覚障がい者用の音声の QR コードの記載をしてほしい。

⇒検討する。

## (2) 市民ヒアリングの結果について

### 【説明】

(資料に沿って説明)

### 【質疑応答等】

◎アウトドア関連事業者とは例えばどんなところか。

⇒ショップ、ラフティングや川下りをやっている事業者、山小屋関係、イベント関係の事業者などである。

- ・ 高校生のアンケートの回収率について、こういった意識調査は現状認識をするためには重要だと思う。施策を決定する重大な要素とするのであれば、統計的に十分な数を確保すること考えていかなければ根拠にならないのではないか。高校生に関しては発送数を

増やさなければいけないのでは。

◎今の話は前々から出ている話で、たしかに回答数が少ない。ぜひそれぞれの課に伝えてほしい。

⇒高校生のアンケートについては、市内在住の高校2年生全員に配布しており、サンプル数を増やせない状況。したがって今後はやり方を変えていくか、学校にも働きかけるなど色々な方法を考えて意見が出る形に変えていきたい。

#### 4. その他

⇒次回第5回審議会は1月13日（金）14時からの予定。

##### 【質疑応答等】

・パブリックコメントについて、HP等ではなかなか周知されないので、色々な媒体を使って周知してほしい。期間を長くしたり、可能であれば説明会も開催したりしてほしい。広く市民に知ってもらうことが大事。

⇒媒体については、広報誌にも掲載する。各支所、市民センターでも募集を行う。期間の延長、説明会の開催については検討する。

・パブリックコメントの募集期間は。

⇒11月24日～12月23日までの間を予定している。

・今後意見がある場合はどうしたらよいか。

⇒直接事務局に連絡を頂きたい。

#### 5. 閉会